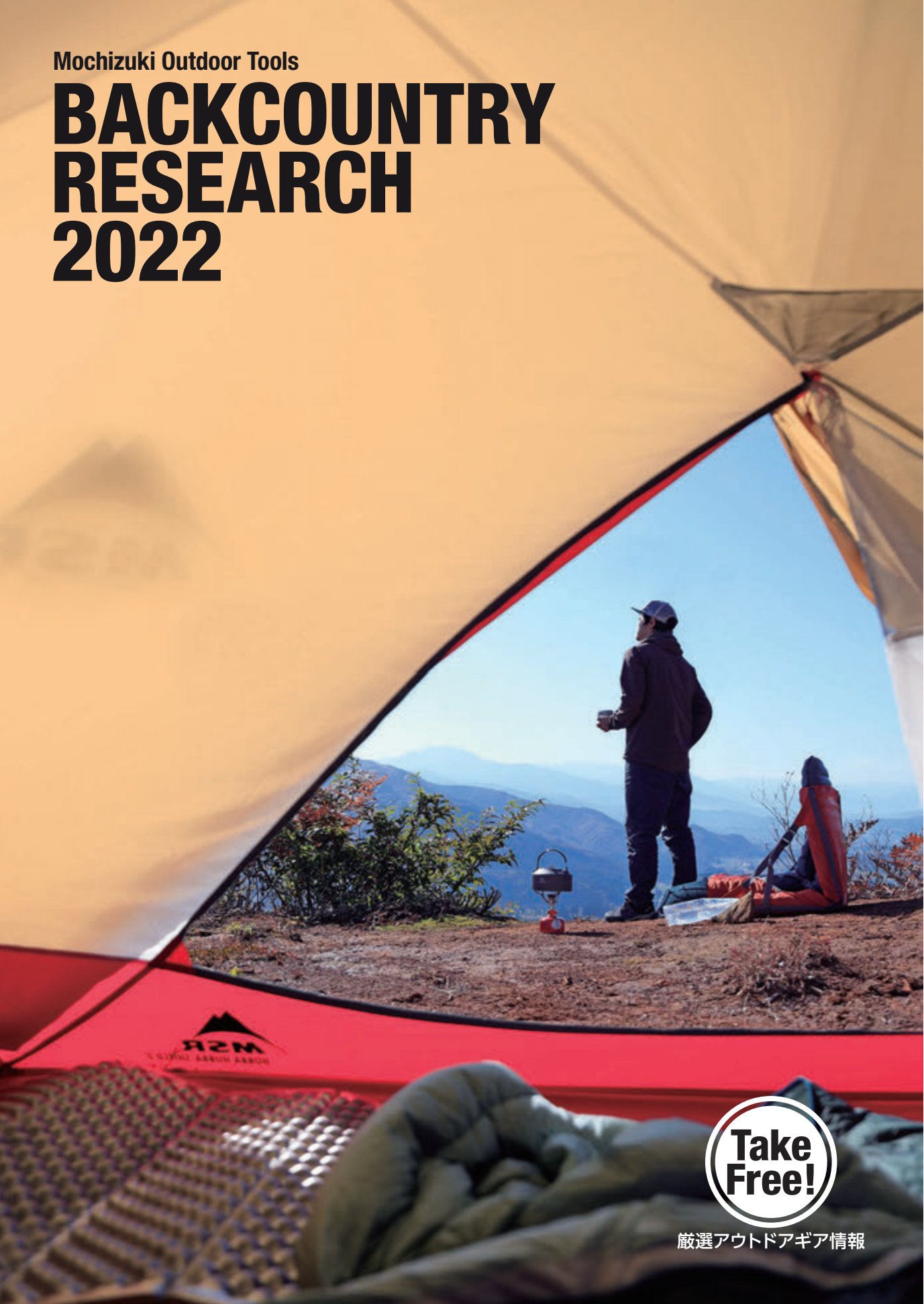


Mochizuki Outdoor Tools

BACKCOUNTRY RESEARCH 2022



backcountry-research.jp



厳選アウトドアギア情報

 Mochizuki Outdoor Tools
株式会社 モチヅキ

〒955-0093 新潟県三条市下須頃323番地
ユーザーサポートダイヤル 0256-32-0860
www.e-mot.co.jp / E-mail info@e-mot.co.jp

*商品の仕様、デザイン、価格等は予告なしに変更されることがあります。*実際のカラーとは異なることがあります。

BACKCOUNTRY RESEARCH 2022

CONTENTS 〔目次〕

04	NEW PRODUCTS INFORMATION 新製品情報
14	ポップアップピットで焚き火と焚き火料理をとことん楽しむキャンプへ
20	TREKKING×WindBurner Personal Stove System
26	CAMPING×Habitude 4
34	テント設営の基本／MSRのタープをきれいに張る方法
36	FISHING×Trail Base Water Filter Kit 4L
42	TEPPA 150tでプレスした最高強度のペグ
44	TEPPA 使いやすさを追求した焚き火鉋
46	ORALPEACE 歯磨きは、なぜ宇宙を目指したか
48	Maintenance MSRフライシートの目止め処理 ／プラティパス クイックドロロー マイクロフィルターのお手入れ
50	Workshop MSR赤缶でつくる物入れ／テントボールのハンガー、ほか
52	2021 PHOTO CONTEST
54	ALL BRANDS
58	雪の民族を追いかけて～遠藤励のPOLAR EXPOSURE
66	新潟の遊びと食 三条の名峰栗ヶ岳と背脂ラーメン

ABOUT

確かな情報をバックカントリーから

BACKCOUNTRY RESEARCH（バックカントリーリサーチ）は、MSRをはじめ、多くのアウトドアギアを取り扱うモチツキがつくるギア・レポート・メディアです。膨大な情報があふれる今、バックカントリー（＝現場）における実践から生まれた、信頼に足るフィードバックをお届けします。本紙のいくつかの記事は、QRコードによってWEBサイトとリンクしています。紙とWEB、それぞれの特性を生かした多角的な情報をお楽しみください。





簡単設営で 悪天候下も安心の 大型テント

6月発売予定

ハビチュード

家族やグループのホームベースとなる大型モデルです。メインのポールはハブで連結しており、先端やフックをサブポールと色分けしてあるため設営はとても簡単。ポールを複数箇所で交差させるため強度が高く、悪天候でも安心して過ごせます。4人用と6人用の2型。定番のブルーにくわえて日本限定のタンカラーが登場しました。

ハビチュード4 / 総重量: 5,750g / ¥79,200 ● ハビチュード6 / 総重量: 6,350g / ¥95,700



細部を見直す モデルチェンジで より軽く、快適に

6月発売予定

フリーライト

軽さと快適性を両立したいユーザーに朗報です。自立式のダブルウォールテントとしては最軽量クラスのフリーライトがモデルチェンジしました。使用素材やインナーテントのフロア形状のような細部まで徹底的に見直し、フライ、本体、ポールのすべてをダイエット。全モデルで室内高が10cm高くなり、居住性も大きく向上しました。

フリーライト1 / 総重量: 890g / ¥51,700 ● フリーライト2 / 総重量: 1,060g / ¥59,400 ● フリーライト3 / 総重量: 1,230g / ¥68,200



NEW PRODUCTS INFORMATION



商品の詳細
はこちら!

MSRのテントは、ハバハバとフリーライトが軽量化でさらに魅力的に。エリクサーとハビチュード、ランデブーには限定カラーが登場です。



快適&タフで扱いやすい ベテランにも人気のモデル

6月発売予定

エリクサー

三拍子揃ったベストセラー。最大の特長は快適な居住空間です。2箇所で交差するメインポールと天井のサブポールによって箱型に近い空間を実現。フライやフロアに厚めの生地を使って耐久性が高く、コストパフォーマンスも抜群です。入門者にはもちろん、丈夫で居心地のいいテントを探すベテランにも大人気。今季は日本限定のタンカラーが登場です。

エリクサー 1 / 総重量: 2,160g / ¥35,200 ● エリクサー 2 / 総重量: 2,770g / ¥42,900 ● エリクサー 3 / 総重量: 3,190g / ¥50,600 ● エリクサー 4 / 総重量: 4,260g / ¥67,100



7ポイントの3D デザインが
美しく快適な空間をつくる

6月発売予定

ランデブーサンシールドウィング

ひと目でMSRとわかる7ポイントのウィングタープ。UPF50+の紫外線防止効果を備え、フィールドに快適なリビングをつくれます。設置したときに中心のラインが優雅な曲線を描く立体的なデザインで、アレンジを変えることで雨や強風などのさまざまなコンディションに対応可能。定番のイエローにくわえて日本限定のタンカラーが登場します。

ランデブーサンシールド120ウィング／総重量：1,620g／¥41,800 ●ランデブーサンシールド200ウィング／総重量：3,060g／¥57,200



居住性に優れる
人気モデルが
山岳エリアに対応

6月発売予定

ハバハバシールド

ハバハバシリーズが日本のリクエストに応じて生まれ変わりました。北アルプスのような山岳エリアにも対応できるようにインナーテントのメッシュを減らして居住性を高めながら、各部を見直して2人用で300gの軽量化を実現。風に負けないポールで居住空間を確保し、劣化しにくいコーティングで長年の使用を可能にしています。

ハバハバシールド1／総重量：1,110g／¥58,300 ●ハバハバシールド2／総重量：1,470g／¥68,200 ●ハバハバシールド3／総重量：1,720g／¥84,700



PackTowl®

あらゆるシーンで使える
定番に新色登場



パーソナル

自重の4倍という優れた吸水性を備えながら速乾性が高く、ソフトで軽量と4拍子揃ったベストセラーに5つの新色がありました。収納ポーチ付きで携行性にも優れています。
フェイス／¥1,540●ハンド／¥2,640●ボディ／¥3,300●ピーチ¥5,280



PVCフリーで環境に優しい
マップケース



マップケース

難分解性のPVCは使わずに、紫外線のダメージを受けにくい透明のポリウレタンを採用したマップケース。カヤックやパック類に繋がられるよう四隅にDリングを備えています。
S／¥1,980●M／¥3,300●L／¥3,960



スマートに持ち運べる
まな板と包丁のセット



スイッチバック

抗菌効果が高い竹のまな板と包丁のセット。まな板周囲には溝が切っており、食材の水分をこぼしません。包丁は磁石で固定可能。シリコンカバーは使用時には滑り止めになります。
サイズ: 33×30cm／¥7,150

outdoor element

人気狩猟番組にも登場した
強靱&多機能なナイフ



フェニックスタロン サバイバルナイフ

刃持ちが良く研ぎやすいD2鋼を使用。ロープカッターや点火用スパークホイールなど、多機能なサバイバルナイフです。米人気TV番組BEYOND THE HUNTにも登場しました。
刃渡り: 8cm／¥12,100

MSRのストーブには、ウィンドバーナーやポケットロケット2のアダプターとクッカーが登場。より幅広い場面での使用が可能になります。



商品の詳細
はこちら！

大鍋料理も安心してつくれる
画期的なアダプター

ローダウンリモートストーブアダプター

ポケットロケット2やウィンドバーナーを分離型にできる画期的なアダプターの登場です。3本足がバーナーヘッドを低い位置で支えるため安定感が高まり、グループで大型の鍋を使うときにはとくにおすすめ。火力の調節がカートリッジ側でできるため、安全性も高まります。

本体重量: 180g／¥7,150
※ストーブ、クッカー、カートリッジは付属しません。



グループの調理も
スピーディにこなす



ウィンドバーナーストックポット 4.5ℓ

ウィンドバーナー専用の大型クッカーです。底部には1ℓクッカー同様のヒートエクスチェンジャーを備え、短時間での湯沸かしを可能にしています。持ち上げやすい両手鍋で、湯切り穴のある蓋はロック付きで確実に固定できます。

容量: 4.5ℓ／重量: 590g／¥14,300
※ローダウンリモートアダプター使用時のみ使用可能。



ウィンドバーナーで
煮込み料理ができる



ウィンドバーナーソースポット 2.5ℓ

ウィンドバーナー専用の煮込み料理用クッカーです。底面の熱吸収リングを密閉型することで熱が均一に伝わるようになり、調理の幅が広がりました。蓋には湯切り穴、内側にはセラミックコーティングを施して焦げ付きを抑えます。

容量: 2.5ℓ／重量: 350g／¥12,100
※ローダウンリモートアダプター使用時のみ使用可能。



自分好みに調節できる アウトドア用枕



コンプレッシブル ピローシンチ

マットレス製造時の端材でつくった枕。ドローコードで好みの硬さや高さに調節できます。使わないときは丸めてコンパクトに収納。

S / ¥3,740 ●R / ¥4,180 ●L / ¥5,280



多用途に使える ポリエステル製の ライナー

8月発売予定

シナジー スリープバッグライナー

寝袋と合わせて使うことで最大3℃のあたたかさを追加できるライナー。フルカバーのシートとして旅行のお供にも最適です。ループが付属し、ブランケット等との接続も可能。ポリエステル製でお手入れも簡単です。

重量: 342g / ¥5,500



大は小を兼ねる、の 大型ブランケット

アルゴ ブランケット

198×182cmのふたり用ブランケットにも新色登場。保温性と収納性に優れる中空糸の化繊綿を使い、シーンを問わず重宝します。

¥14,300



掛け布団のように 使える ダウンキルト

コーラス

650FPのニクワックス撥水ダウンを封入したキルト。寝袋の上にかけて断熱性を高めることも可能です。5～0℃と0～-6℃の2種。

0℃ / ¥35,200 ●-6℃ / ¥38,500



定番サイズの ブランケットに 新色追加

8月発売予定

ステラー ブランケット

濡れに強い化繊綿のブランケット。中空糸の綿は保温性と同時に収納性にも優れています。両端にはサーマレストの寝袋に固定できるループが付いています。

サイズ: 190×142cm / ¥12,100



ポン チヨにもなる 化繊 ブラン ケット

ホンチヨポンチヨ

フード付きのポンチヨに変身するブランケット。化繊綿を封入し、秋冬の防寒にも最適。胸の大きなカンガルーポケットが重宝します。

サイズ: 200×142cm / ¥16,500



サーマレストは寝袋のラインナップがさらに充実。マットレスから小物まで、上質な「レスト」のためのあらゆる製品が揃います。

THERMAREST

この価格でこれ以上の マットレスはありません

トレイルスカウト

トップモデルと同様の耐久性と快適性を備えながら、リップストップ生地採用で価格を抑えたモデル。自動膨張式の最初の一本にも最適です。

S / ¥8,250 ●R / ¥9,680
●L / ¥11,000



気軽に使える化繊綿の新作ブランケット



8月発売予定

ジュノブランケット

サーマレストのブランケットに最小モデルが仲間入りしました。ひざ掛けやちょっとしたお昼寝にも最適。キャンプだけでなく、フェスや旅行でも使いやすい手ごろなサイズ感です。

サイズ: 183×114cm / ¥9,350

夏のアウトドアに ぴったりの 化繊中綿モデル

スペースカウボーイ7℃

軽量で保温性と収納性に優れる中空糸の化繊綿を使用。65%を上層、35%を下層に配置し、保温性と軽さを両立しています。マットを一体化させるコネクターやオプション用のループも装備しています。

重量780g / ¥26,400



無雪期から厳冬期まで 対応できる 3つのモデル

5月発売予定

パーセック

使用温度域を5～0℃、0～-6℃、-10～-18℃に設定して無雪期から厳冬期まで対応できる3モデル。中綿に800FPのニクワックス撥水ダウンを使用。コンプレッションバッグが付属してコンパクトに収納できます。

0℃ / ¥52,800 ●-6℃ / ¥60,500
●-18℃ / ¥70,400



有効成分を揮散させて
虫よけバリアをつくる

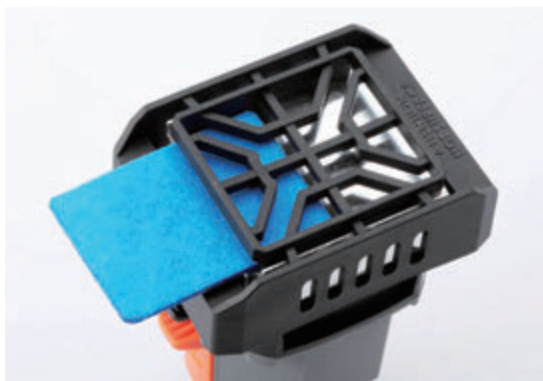


THERMACELL

アウトドア用ブユ・虫シールド Backpacker

専用ガスカートリッジを燃料に、マットを加熱して有効成分のプラレトリンを揮散させる虫よけ器です。ブユは直径1～2m、ユスリカは直径4～5mの範囲で効果を発揮。マット一枚あたり最大4時間使用できます。肌に薬剤を付ける必要がないため、幼児や肌が弱い人でも安心して使用できます。

使用時間/虫よけマット1枚あたり最大4時間/専用ガスカートリッジ1本あたり最大75時間(別売)/内容:本体、虫よけマット3枚、トラベルバッグ/¥6,380



NATURAL SPIRIT

定番のカトラリーセットが
一新されてより使いやすく



フィールドカトラリー4点セット

ナチュラルスピリットの定番、スプーン、フォーク、ナイフ、箸の4点セットをリニューアル。ナイロンケースが付属し、スマートに持ち運べます。

¥990

Husegu

わずか15gのメッシュで顔の周りをガード



トレイルモスキートネット

キャップやハットに被せて頭部を守る虫よけ。キャップの耳部分は二重にしてネットに触れる肌を守ります。ハリのある生地は貼りつきにくく、シワになりにくく視界も良好です。

キャップ用/¥1,870●ハット用/¥1,540

TEPPAからは、満を持してペグハンマーが登場。モチツキのルーツを受け継ぐ自信作です。鉋を長く使うための補修用品もぜひ!

TEPPA
CRAFT GEAR

ヘッドの重みを生かして
硬い地面でもスムーズに設営

10月発売予定

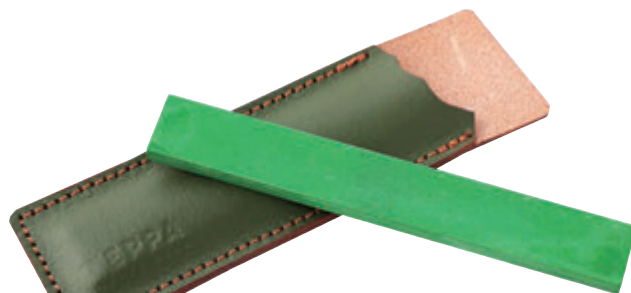
ベースキャンプハンマー

高強度スチールのペグハンマーです。ヘッドの重みで硬い地面にも楽にペグを打ち込めるよう、持ったときの最適なバランスを追求しました。ヘッドの丸びはカラビナを通すためのもので、モチツキの原点でもあるクライミング用ピトンハンマーの意匠を受け継いでいます。側面には、モチツキから見える栗ヶ岳の稜線を描きました。

全長:283mm/重量:650g/¥6,600



刃物を長持ちさせる
携帯用の砥石



ハンディストーン鉋用

携行性に優れるスティック型の砥石です。水に漬ける必要がなく、さっと濡らすだけですぐに使用可能。定期的にメンテナンスすることで刃の寿命を伸ばすことができます。

¥4,070

スチール製品のサビを
ゴシゴシ落とす



さびとり侍

刃物用のサビ取りです。消しゴムのようにゴシゴシこすってサビを除去します。鉋をはじめ、スキーやスノーボードのエッジなど、スチール製品全般のサビ取りに使用できます。

¥1,320

ポップアップピットで 焚き火と焚き火料理を とことん楽しむキャンプへ

焚き火と焚き火料理を楽しむなら、いい焚き火台が欠かせません。おすすめはファイヤーサイドアウトドアのポップアップピット。大型の焚き火台だからできる焚き火パーティ料理を、アウトドアコーディネーターの小雀陣二さんに教わりました。



小雀陣二（こすずめじゅんじ）
アウトドアコーディネーターとして活
動するかたわら、雑誌等で提案する
「簡単、おいしい、実践的」と三拍子揃
ったレシピが人気。シーカヤックツア
ーなどで焚き火で料理することも多く、
焚き火料理は得意分野。「焚き火料理
の本」（山と溪谷社）など著書も多数。



久しぶりに会ったけど、焚き火を囲めば時間はすぐに取戻せる。火を見ながら、温もりをもらいながら、夜更けまで会話は尽きない。

いい焚き火台は仲間を繋げてくれる



香ばしいトーストと、したたる脂でよりスモーキーになったベーコン。たっぷりのレタスとトマトに全体をピリッと引き締めるマスタードで至福のサンドイッチ完成。



朝食はBLTサンドとクラムチャウダー。小雀さんがクラムチャウダーをつくる傍でトースト係とベーコン係も同時に作業。大きい焚き火台があると朝から賑やかだ。



火床が広いポップアップピットなら、大きな薪もそのまま放り込める。四本足の低重心で安定感も高いので気遣いがいらず、直火のような自然な焚き火が楽しめる。

でももうおいしそう。アスパラや白菜にかすかな焦げ目がついて、その隣でベーコンの脂がしたたってジューツと音を立てます。トンゲで火床を均すと、ナスはそのまま熾の上へ転がしました。

「火床がフラットでひっきりかきにくいのもいいところで、こうして薪をすらしたりするのもやりやすい。最初は、下がメッシュなので燃えすぎるかなと気になりましたが、目が細かくて空気が入りすぎないせいか、ほどよく燃えてくれるのも使いやすいですね」

そう言いながらふたたび熾を均すと、メインのトマホークを網の上へドン。肉の塊にみんなのテンションもあがります。なるほど、この大きさの肉を焼きながら、鍋を置いてもまだ余裕があります。

火加減の調節は熾火の量で行ないます。さらに強火がほしいときは薪を追加。熾火がしっかりできていて、乾いた薪があれば、そんなに難しいことはありません。同時調理はハードルが高くて、あらかじめつくったスープを片隅で保温しておいて、空いたスペースでBBQならできそうだな、なんて夢が広がります。

「そろそろかな」と小雀さんが鍋の蓋をとると、白い湯気とともにお米の甘い匂いが漂いました。

「ああ、もう我慢できない」とだけれかが言って、ブルタブをプシュ！ さあ、宴のはじまりです。



骨付き肉と鮭の切り身、鍋を置いてもこの余裕。MSRのアルパインストアウェイポットはハンドルが長く、焚き火でも使いやすい。



座ったままですべてに手が届くスペシャルキッチン。小雀さん考案のワークテーブルはポップアップピットと高さで同じで相性抜群。



すべてを乗せた贅沢なワンプレート。焚き火料理とは思えない繊細な味わいだが、ひとつひとつは意外と簡単。レシピはWEBで！



なんと6品を同時に調理。ムール貝はステンレスのバスケットに入れて蓋で蒸し焼きにした。焚き火の力で素材の旨味を引き出す。

朝夕はすっかり涼しくなった10月のある日、キャンプ場に仲間が集まりました。目当ては、焚き火と小雀陣二さんの焚き火料理。火を囲んで語り合い、食い倒れようという一泊二日のキャンプです。

集合してサイトが決まると、小雀さんは慣れた動きで「焚き火キッチン」をつくりはじめました。作業しやすいように焚き火台と同じ高さのテーブルをL字に並べて、焚き火台は、みんなで囲めるように真ん中に置きます。

ファイヤーサイドアウトドアのポップアップピットは、簡単に組み立てられる焚き火台です。火床はステンレスのメッシュで、燃焼に必要な空気を下から取り込むため、煙が少なく、薪を最後まで燃やしきるクリーンな焚き火が可能になります。焼き面積が62×62cmと大きいのも特徴で、大きすぎて持て余してしまいうちに思いきや、このサイズこそが小雀さんの「推し」でした。

「スペースがあると場所によって火加減を変えるのも簡単です。複数のメニューを同時につくれるので、家族やグループで楽しむにはとてもいいですよ」

こうして話しているうちにも薪は燃え、いい熾になりました。小雀さんは手際よく素材を用意して、焼き網に乗せていきます。新潟名物の鮭の味噌漬はこのあと炊き込みご飯に入りますが、そのまま



各料理の作り方はこちら！

ムール貝の薫焼き

材料
ムール貝 2kg
レモン 1/2個
イタリアンパセリ 数本
薫 ふたつかみ

ステンレス製のベジタブルバスケットを使い、薫の強い火力で蒸し焼きに。むっちりした身を噛むと口の中に磯の香りが広がり、ビールが進む。余ったら翌朝のクラムチャウダーに。



ベーコンと白菜のグリル

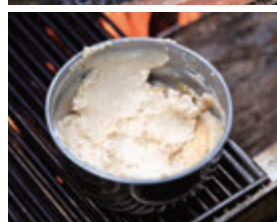
材料
厚切りベーコン 1枚 オリーブオイル 大さじ2
白菜 1/4個 ブラックペッパー 適量
レモン 1/2個 塩 小さじ1/2



焦げ目を付けた白菜と煙の香りをまとったベーコンは絶妙な組み合わせ。香ばしい肉の旨みを野菜の甘さが包み込む。さわやかなドレッシングに決め手はブラックペッパー。

アスパラとトマトのグリル・胡麻チーズソース

材料
アスパラガス 6本 クリームチーズ 50g
トマト 1個 胡麻ペースト 50g
バター 30g ブラックペッパー・塩 好みで



アスパラの力強い味わいとフレッシュなトマトを胡麻とクリームチーズを練ったソースでひとつに。クリームチーズは火のそばで温めると柔らかくなって混ぜやすくなる。

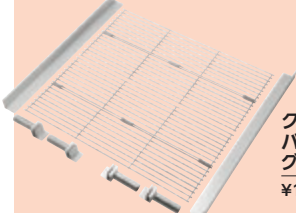
ファイヤーサイドアウトドア



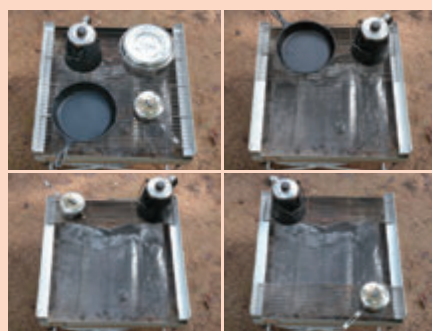
ポップアップピット
¥15,400
サイズ: 62×62×39cm(使用時)、
68.5×13×13cm(収納時)
重量: 3.6kg / 耐荷重: 56.7kg

多彩に使えるバーベキューグリル

ポップアップピット専用のバーベキューグリル。2枚の網はそれぞれ二つ折りにできるので、焚き火で暖を取りながら残りのスペースで調理するなど、キャンプの時間やスタイルに合わせた多彩なアレンジが可能です。



クアドフォールド
バーベキュー
グリルキット
¥13,200



ワイドな火床で6品を同時に調理

鮭とキノコの炊き込みご飯

材料
新潟米 3合 昆布出汁の素 1袋
鮭切り身味噌漬け... 2枚 ミョウガ 2本
しめじ 15g

鮭としめじのうまみを昆布出汁でまとめた炊き込みごはん。沸騰したら米をかき混ぜるのがコツ。皮や味噌の香ばしい焦げ目にパンチがあり、最後に加えたミョウガがさわやかなアクセントになる。

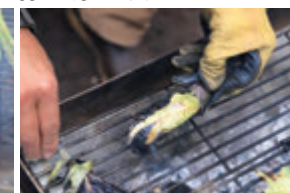


焼き茄子とネギの味噌汁

材料
茄子 3本
長ネギ 1/2本
出汁入り味噌 適量



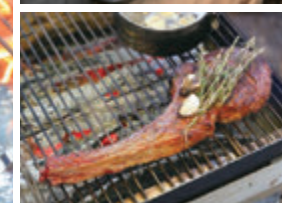
やわらかなナスとしゃきとしたネギ、野菜の旨味と食感がうれしい味噌汁。茄子は熾火の上にそのまま転がしてワイルドに焼く。全体的に柔らかくなったら焼き上がり。皮を剥いて好みの大きさに。



牛リブロース肉のグリル

材料
牛リブロース(トマホーク) 1本(1kg)
ローズマリー 数本
ニンニク ふたかけ
オリーブオイル 大さじ1
ブラックペッパー 適量
塩 適量

「トマホーク(=斧)」と呼ばれる牛のあばらの骨付き肉。大きな肉の塊は焚き火料理の醍醐味で盛り上がること間違いなし。赤身と脂のバランスも良く、味もいりません。



TREKKING

WindBurner Personal Stove System

MSRのウィンドバーナーパーソナルストーブシステムは、屋外用としては初めての燃焼システムを採用しています。風の影響をほとんど受けず、長期の旅で威力を発揮します。



ウィンドバーナー パーソナル ストーブ システム
サイズ: 11.5×10.7×18.1cm
重量: 465g (ガスカートリッジ除く)
¥28,600

強風下でも安定して湯沸かしできるため、食事等の準備にかかる時間も正確に読める。迅速に行動したい朝夕の時短にも役に立つ。



休憩場所にもちょうどいい黒沢橋で冷たい沢水を汲む。スピーディな浄水器ならわずかな時間でためらわずに使えるし、安心して飲める。②

ブナに囲まれた緩やかな登山道。豊かな緑は目に優しく歩いているだけでも心地よい。

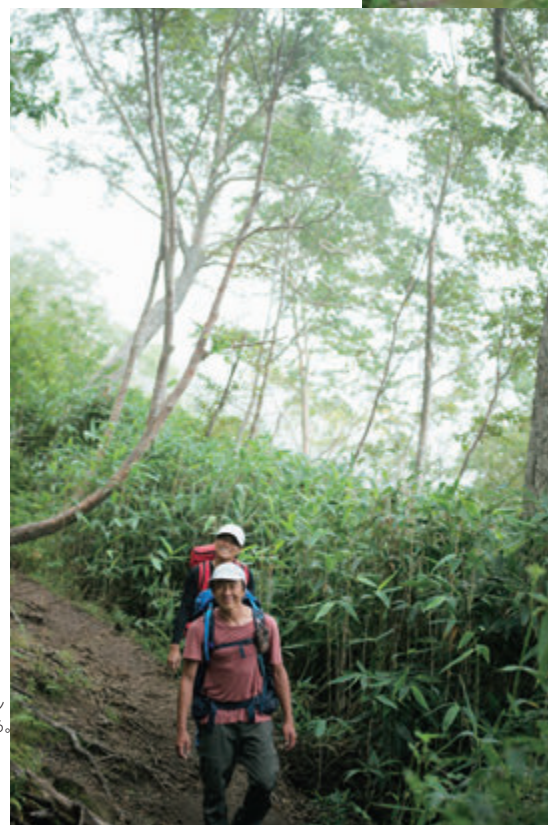


十二曲りの急坂を上ると木々の間から北アルプス。ところどころにまだ雪が残っていた。



笹ヶ峰〜火打山は人気のコース。整備も行き届き、危険箇所もない。歩きやすい登山道だ。

いつも楽しそうな橋本夫妻。明るくオープンマインドで周囲の人をハッピーにしてくれる。



軽量ながら快適性が高いハバハバシート。雨が降る前に設営を済ませる。①



風に負けないストープは エキスパートだけのものじゃない

橋本貴興さん、令子さんご夫妻とともに新潟県の火打山に登りました。橋本さんはプロスケーターにしてプロスノーボーダー。出身地の大阪府と現在の住まいである長野県を拠点に、夏はスケートボード、冬はスノーボードを抱えて全国を飛び回っています。

豪雪地帯にある火打山はバックカントリースキー／スノーボードの名山で、スノーボーダーの橋本さんが自分の庭のようによく知る山。新潟県と長野県にまたがる妙高戸隠連山国立公園にあり、おとなりの妙高山と並ぶ日本百名山です。妙高山〜火打山の縦走路は一泊二日でふたつの百名山を登れる人気のコースで、夏はもちろん、とくに秋の紅葉シーズンには多くの登山者で賑わいます。

登山口の笹ヶ峰をスタートして、休憩したり、写真を撮ったりしながらのんびり歩いても昼すぎには高谷池ヒュッテのテント場に着きました。夕方から雨の予報で、すでに霧が始めています。降り出す前にとテントを設営して、ほっと一息。橋本さんはバックパックから真っ赤なクッカーを取り出すと慣れた様子で組み立て、手早くコーヒを淹れてくれました。M

SRのウィンドバーナーパーソナルストープシステム（以下ウィンドバーナー）。ウィンドバーナーは、従来のアウトドア用ストープにはない燃焼方式を採用しています。それがラジエントバーナー機構です。一見するとバーナー部とクッカーが一体になった高効率型ガスストープですが、燃焼の仕組みは現在市場に流通しているガスストープとはまったく異なっています。一般的なガスストープはバーナーヘッドの下部に穴があり、ここから空気を取り入れてガスと混合しています。ここで取り入れる空気を一次空気といいます。点火すると、ガスと一次空気が混じった混合気に火がつきますが、燃焼時は炎のまわりからも空気を取り込みます。これを二次空気といいます。これまでのガスストープは、いずれも二次空気を取り込みながら燃焼します。「高効率型」と呼ばれるモデルもこの仕組みに変わりはなく、それゆえ燃焼中は少なからず風の影響を受けてしまいます。これに対してウィンドバーナーは、ガスと一次空気の混合気のみで燃焼します。ラジエント（radiant）とは英語で「放射」の意。混合気の燃焼によって熱せられたバーナーヘッドの金属メッシュが



なくても大丈夫だが、あると便利なのがランタン。最近はLEDの軽量タイプが主流だ。太陽光で充電できるソーラーランタンなら歩いている間に夜の灯りをチャージできる。⑦

高谷池をバックに記念撮影。火打山の周囲には大量の積雪がつくる池塘が点在している。池塘の水が豊かな自然を育む。



ウィンドバーナーには点火装置がない。濡れに強いファイヤースターターがおすすめ。③

高効率型ならティープレイクも気軽に取れる。カップルやグループにもうれしいポイントだ。



座布団があれば、下が濡れていても気にせず座れる。軽量なので負担は増えず、休憩の質は格段に向上する。⑨



夜通し降った雨は上がったが、山頂を覆う雲は晴れなかった。天狗の庭まで散策してUターン。こんな日もある。



歯を磨くと気分がリフレッシュする。生分解する歯磨き粉なら、自然環境が繊細な高山でも気兼ねなく使える。⑧



空模様は怪しかったので、まずは寝床を整える。安眠には快適なマットが欠かせない。④



火打山は日帰りも可能だが、高谷池ヒュッテで一泊すると余裕ができて山の時間を満喫できる。

赤外線を放射し、この放射熱でクッカーを温めます。燃焼に二次空気を必要としないため、クッカーの底で完全にバーナーヘッドを覆うことができます。つまり、風の影響をほとんど受けません。

クッカーの底には渦巻き状にフィンが付いています。このフィンがあることで熱を受ける面積が広くなり、また、クッカー底部に当たった熱がフィンに沿って移動し、クッカーをムラなく温めながら横から排出されます。バーナーから放射される熱がロスなくクッカーに伝わるため、素早くお湯が沸かせます。

こうした構造によって実現したのが、これまでのガスストーブでは歯が立たないような強風下でも一定のパフォーマンスを維持する高度な安定性と低燃費です。

MSRのラポテストによると、競合他社の製品が風速3mの風を受けると沸騰できなかったのに対し、ウィンドバーナーは風速5mでも沸騰させることができました。ウィンドバーナーはまた、ガスの流量を整えるプレッシャーレギュレーターを内蔵しているため、オールシーズンに対応する専用のインプロカトリッジとも相まって、低温時にも安定した火力を発揮できます。

悪条件下でも一定のパフォーマンスを保つということは、燃料の消費量も同じく極端には変わりません。

①MSR/ハバハバシールド2 ¥68,200 ②プラティパス/フイックドローマイクロフィルター&リザーバー 1.0L ¥6,490 ③UCO/サブイパレファイヤーストライカー¥1,760 ④サーマレスト/プロライトR ¥14,300 ⑤UCO/キャンプカップ¥1,320 ⑥サーマレスト/スペースカウパー-17C ¥26,400 ⑦キャリアザサン/ウォームライトミディアム¥4,180 ⑧オーラルピース/アウトドアアドベンチャートゥースペースト¥1,100 ⑨サーマレスト/Zシートソル¥2,860



使用したアイテムはこちらでチェック

ということですが、このことは何を意味するのでしょうか。

「燃費があまり変わらないということは、必要な量を相当な確度で計算できるということ。余分なカートリッジを持つ必要がなくなります。旅や山行が長期になるほどこれは頼りになる。風が強い時もお湯が沸かせると聞けばシビアなところに出かけるエキスパートのための道具だと思えますが、それだけではありません。僕たちのように夫婦で長い旅をしたり、グループで行動するときにも大きなメリットになりますよね」

すぐにお湯が沸かせるのももちろんうれしいですけどね、とくに疲れているときは。そういいながら湯気を立てるクッカーを手にすると、橋本さんはふたつのフリーズドライにお湯を注ぎました。



電波が入らない静かな山。寝袋に足を入れ、ぬくぬくと物語に没入する至福の時間。⑥



軽量でコンパクトになる樹脂製のカップはキャンプや登山など場面を問わずに重宝する。⑤



火打山は花の百名山としても知られている。黄色いハナニガナと可憐なシモツケソウ。

CAMPING

Habitude 4

MSRのハビチュードは、アウトドアの楽しみを伝えるホームベース。背が高く開放的で、強度があるので悪天候でも安心です。湖畔で過ごす5人家族の週末を覗いてみましょう。

居心地のいいテントとともに欠かせないのが大きめのタープ。これさえあれば、雨の日も快適なリビングスペースがつかれる。①

ハビチュード4
サイズ:W2.41×D2.41×H1.85m
(前室の張り出し=1.22m)
定員:4人
総重量:5750g
収納サイズ:58×23cm
¥79,200



耐久撥水（DWR）コーティングを施したフライシートは、軽くて楽に被せられる。



独自設計のストーブシステム。メインの熱源とは別に、リビングテーブルで使える小さいストーブがあると便利。

かさばりがちなスパイスは、積み重ねタイプのポータブルケースに。ローリエなど長めのものも収められる。③



肌に直接つけない虫除け器はベンチ脇に置いて使用。プユから守ってくれる安心グッズだ。⑥



クローズドセルマットレスは、瞬時に広げられるのが利点。ブランケットと組み合わせれば快適な寝床が完成。⑤



車に入り切らない道具はヒッチキャリアに。完全防水バッグがあれば雨が降っても中のものを濡らさずに済むので便利だ。②



ハンドルが液体燃料ストーブのメンテナンスツールに使えるカトラリー。無骨なデザインはギア好きにたまらない。④

福島県の裏磐梯は、日本百名山に数えられる磐梯山と、同地域でもっとも大きい松原湖がある自然豊かな行楽地です。キャンプ場も点在し、夏場は涼しく冬場は辺り一面に雪が積もることから、年間を通して多くのアウトドア好きが集まります。

キャンプ歴13年目の西牧吉郎さんファミリーは、快適な気候と四季折々の風景が見られることから、年間通して裏磐梯でキャンプすることが多いとのこと。アメリカのヴァンテージカーを車のルーフに積み、湖上散歩をしたりバスフイッシングをしたりして楽しむのがお決まりです。また、ハンドメイドのルアーギア職人でもあり、キャンプには必ず釣り道具を持っていっては子供たちと一緒に釣りをしています。

今回も釣りとカヌーを楽しむべくキャンプを敢行。使用するテントは、MSRのハピチュード。2020年に発売した自立型ドームテントで、4人用と6人用の2サイズを展開しています。西牧さんは4人用を使用。収納サイズは58×23cmで、他の4人用テントだと幅が70cmを超えるものが多いことを考えると、コンパクトなサイズであることがわかります。車の積載スペースを節約できるため、軽自動車など車の荷室が小さくて心配な人もこれなら安心です。総重量は5750g。同サイズのテン



豊かな自然に溶け込みながら
快適な居住スペースをつくる

昼食をとる西牧さんファミリー。和やかな雰囲気
が辺りに漂っていた。

波ひとつない水面に映るサイト
テント内のライトが辺り一面を照らす



新作の焚き火台は大型。網を2分割できるため、焚き火と調理を同時に行える。⑦



着火剤を使って素早く焚き付け。風と濡れに強くどこでも手軽に使えるのが魅力だ。⑧



キーマカレー+ナンで美味しく夕食。φ20.5cmの皿にちょうどよく、スタッキングできるので持ち運びしやすい。⑩

テントの天井にはループを配置。LEDライトを吊るせば室内を明るく照らしてくれる。⑫



薄明かりに溶け込むキャンドルランタン。重厚感あるプラスチックで大人な雰囲気。⑨



テントの中から親の会話風景を眺める子供たち。色・柄ともに豊富なブランケットとピローは自分用と認識しやすい。⑥



焚き火に使う薪を細かく割っていく。新潟県で職人が手作業で作る鉋は刃の鋭さ、握り心地ともに最高峰。⑬

キャンプ場で受付を済ませた西牧さんファミリーは、サイトを確保します。最初にテントの設営です。ハビチュードのポールは、2本を中央の金具で1束にまとめたハブ構造を採用しており、スピーディな設営を可能にしています。メインとサブのポールは、先端やフックを色分けしてあるため、初めて設営する人でも間違えにくくしているのが特徴です。インナーテントはフックをポールに引っ掛ける吊下げタイプで、スリールに通すタイプと比べて早く組み立てられるだけでなく、一人でも簡単に立ち上げられる構造になっています。立ち上がった後、フライシートを被せて内側のベルクロをポールに巻けば完成です。所要時間は10分程度。完成した後、西牧さんはテントの中に入り、手を上下左右に伸ばしていました。「室内高が185cmもあると広く

ない軽さやコンパクトな収納サイズはMSRが長年培ってきたバックパッキングテントの製造技術を遺憾なく生かしたことで実現しました。

ほとんどのものが、多量に作られる中で、非常に軽く作られています。トータル10kgを超えて、多いものが、非常に軽く作られています。



ティーポットの先端にはくぼみがあり、細くお湯を注げて水切れも良いのが特徴。ドリップコーヒーも淹れやすい。⑭



お父さんにつられ、子供たちも釣りを満喫。小さいながらも確実に釣り上げる次男くん、長男くんは驚きを隠せない。

①MSR/ランデブーサンシールド200ウィング¥57,200 ②シールライン/プロジップダブル40L ¥31,350、70L ¥39,050 ③ゴースタック/スターターキット¥2,035 ④MSR/アルパインツールスプーン¥1,045、アルパインツールフォーク¥1,540 ⑤サーマレスト/Zライト コヨーテ¥6,600 ⑥サーマセル/アウトドア用ブユ・虫シールド¥5,280 ⑦UCO/フラットバックグリルL ¥14,300 ⑧サーマレスト/ステラーブランケット¥12,100、コンプレッシブルピロシニン レギュラー¥4,180 ⑨UCO/キャンドルランタン【プラス】 ¥5,940 ⑩MSR/アルパインプレート¥1,540 ⑪UCO/ストームブルーフ スイートファイヤー¥1,980 ⑫UCO/スプラウト+ ¥4,180 ⑬TEPPA/薪割鉋 守門 ¥12,100 ⑭MSR/ピカ1Lティーポット¥4,180 ⑮アイスミュール/プロクーラーL リアルツリーカモ¥15,950 ⑯MSR/アルパイン4ポットセット¥13,750、ドラゴンフライ¥23,100
使用したアイテムはWEBサイトで詳しく紹介しています。



使用したアイテムはこちらでチェック



とろ火も安定した火力のガソリンストーブ。朝食はステンレスポットでスープ作り。⑮

防水のソフトクーラーは背負うことも可能。カヌーや釣りなどのウォータースポーツに便利。⑮



澄み切った朝の空気の中、大物を狙ってカヌーフィッシングを満喫



感しますね。大人でも立って歩けるのはありがたいです」
ハビチュードの高い居住性の秘密は、インナーテントの構造にあります。側面が地面に対して垂直に立ち上がることで隅のデッドスペースをなくし、無駄なく広々と過ごせます。今まで隅っこで寝ていると窮屈に感じていた人も、気にせず寝られるようになります。また、インナーテントの天井にはメッシュ生地を配し、風を取り入れやすくなっているのも特徴です。フライシートにもベンチレーションがあり、夏場にありがちな蒸し暑さを軽減して快適性を向上。タンカラーのフライシートは光を程よく通し、日中でも心地よい空間に包まれます。

テントの設営が終わったらリビングをセッティングし、サイトの完成です。設営が終わると、すぐさまカヌーを準備していざ湖上散歩へ。子供たちと一緒に出かけ、1時間ほどかけて湖を一周し、ワイワイ楽しみながらゆつくりと過ごしていました。

太陽が山の向こうに姿を消し、名残のオレンジ色が消えると一日の終わりです。リビングとテントにライトを点け、お母さんは夕食の準備を始めました。待っている間、子供たちはテントの中でひと休み。

ここで、ハビチュードの特徴をもうひとつご紹介。それが、前室

の天井に装備したLEDポーチライト。これのおかげで足下が見やすくなり、靴の脱ぎ履きが楽にできます。また、室内の天井にはランタンが引っ掛けられるループが付いており、テントの中で過ごす際はここにライトを吊り下げることができ

ます。「できたよー!」とお母さんのひと声で、子供たちはテントを飛び出しリビングへ。今夜の夕食は西牧さんファミリー定番のキーマカレーです。今日のキャンプはどうだったか、明日はどんなことをしようか、など家族会議をし、片付けたら就寝です。

翌日の朝6時。湖がモヤで覆われている中、西牧さんはカヌーに乗ってバス釣りを始めました。夜が明けてから2時間ほどの時間帯を朝マヅメといい、魚が一番釣りやすい時間帯です。キャンプでは、いつもこの時間帯に合わせてカヌーを出して釣りをしています」と教えてくれました。釣りを終え、サイトに戻って家族と朝食。温かいスープを飲みながら、今日の予定について話し合います。

も開けることができるのが特徴です。子供たちの手伝いもあり、サクサクと片付けが進みます。ポールを外し、フライシートとインナーテントと一緒にクルクルと丸め、収納袋に入れば終了です。設営で構造を理解したこともあり、撤収時間はほんのわずか。あつという間に終わりました。

ハビチュードはどんなテントだったか、最後に西牧さんに聞いてみました。

「テントに初めて入った際に感じたのが、とにかく『広い』ということ。大人が立って着替えができるのはやっぱり嬉しいですね。子供が小さいうちは、家族5人でいい感じで使えそうだと思います。また、丈夫な構造のおかげで風を気にせず眠れたのもよかったです。今回はガイヤンを張っていましたが、フライシートのバタつきも気になりませんでした。6本すべてを付けば、風が吹いても安心して寝られそうですね。2020年に発売されたブルーカラーもいいのですが、今回使用したタンカラーならどんなキャンプ道具とも合わせやすいので、ギアにこだわりの強い人でも使いやすいと思います」

愛車のレンジローバーに道具を詰め込み、撤収完了。西牧さんたちは笑顔でキャンプ場を後にし、友人たちと一緒に地元で評判のラーメン店へ向かっていくのでした。



動画もチェック!

MSRのタープをきれいに張る方法

MSRのタープは平面ではなく、立体的にデザインされています。正しく張ると中央にくれができ、雨や風に対する耐候性が最大限に発揮されます。ウイング型は設営が難しいイメージがありますが、ここで紹介する方法ならひとりでも簡単に設営が可能。追加でポールを入れることでアレンジできるので、環境に合わせて上手に使い分けてください。



4 後ろのポールを立ち上げる

メインポールを本体に差し込んで立ち上げます。ガイラインが正しい方向に引っ張られると、手で支えなくてもこの段階で自立します。自立しない場合はテンショナーで微調整してください。



5 前方へ移動してガイラインを固定

後ろのポールを立ち上げたら、本体の下をくぐって前へ移動し、もう1本のメインポールを斜めの状態で立ち上げます。その後、ガイラインを伸ばしてペグを打ち込み、しっかり固定します。



6 両側のラインを固定して微調整

前後を固定したら、残りのガイラインを伸ばして固定します。テンショナーはロゴがある両サイドは下から2/3、そのほかはラインの半分の位置が目安。最後にテンションを調整して完成です。



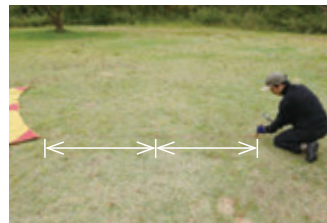
1 タープの設営に必要な付属品

収納袋にはタープ本体、メインポール、ペグが同封されています。ガイラインはタープの各角にそれぞれ内蔵されています。このほかにはペグハンマーがあると設営が楽になります。



2 タープを広げて張る位置を決める

タープを広げ、風向きやサイトのレイアウトを考慮して前後を決めます。一度設営すると調整しにくく、いちからやり直す必要があるため、この段階でよく考えて場所を決めましょう。



3 後ろ2箇所のガイラインを固定

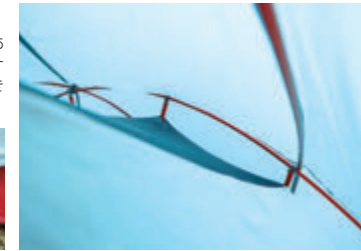
角に収納されているガイラインを伸ばして固定します。テンショナーを中央に位置しておき、ガイラインを正しい方向に引けば、立てたときにちょうどよくテンションがかかります。

テント設営の基本

テントは衣食住の「住」にあたる大事な道具です。自立式のテントは設営も簡単ですが、正しく設営されていないケースもよく見られます。正しく設営されていないテントは本来もつ機能が発揮されなかったり、場合によっては破損してしまうこともあります。ここでは、テントを設営するための基本的な方法や間違えやすいポイントをご紹介します。

フライシートにテンションをかける

フライシートには、雨や結露による漏水を防ぐ役割があります。ピンと張れていないと、フライシートとインナーテントとの間に空間を作れず、張り付いて漏水を引き起こします。張り具合はこまめにチェックしましょう。



フットプリントでボトムを保護

別売りのフットプリントは必需品ではありませんが、使用することでテントの底に汚れが付くのを防ぎ、石などの鋭利なものからボトムを保護することができます。コーティング面を上にとすると傷みにくく、長持ちします。



ポール収納時は中央から折る

ポールにはショックコードが内蔵されています。このショックコードに過度な負担がかからないように、収納する際は端からではなく、中央から折りたたむようにしましょう。こうすることで伸びにくく、長持ちします。



ガイラインを張れば強度が増して安全

風が強くなりそうなときは、フライシート側面のガイラインアタッチメントを利用してガイラインを追加することで、テントの強度を高めることができます。予備のガイラインやペグを用意しておくとお天候下でも安心です。



テントは必ずペグで固定する

正しく設営するためにはペグダウンが必須。自立式テントはペグダウンしなくても立ち上がりますが、強風では倒れやすくなります。ペグループをしっかり引き、60度程度の角度をつけて打ち込んでください。



FISHING

Trail Base Water Filter Kit 4L

MSRのトレイルベースウォーターフィルターキットは、ふたつの方法で安全な水をつくれる浄水器。機動力が高く、溪流釣りのようなアクティビティにもぴったりです。

周りにいくらでも水がある溪流では、飲み水は登り始めだけあればよい。あとはウォーターフィルターを使って何リッターでも作ることができる。

トレイルベース
ウォーターフィルターキット 4L
収納サイズ: 14×28cm
重量: 516g
¥24,200



右上) ファーストキャストのフライを慎重にチョイス。さあここいらのお魚は何か好みかな？(左上) 日中は暑いぐらいの気温だが、太陽が山に隠れると一気に冷える。赤く色づき始めたヤマウルシ。山の秋の訪れは早い。(右下) 水辺では防水のバックパックがあると心強い。70Lでテントや食料を持ち込んだ。④(左下) ほぼ向うアワセでティップがグンと引き込まれる。ファイトを楽しみながらあがってきたのは良型のレインボー。

溪流釣りとは相性抜群の 二刀流ウォーターフィルター

一昔前であれば喉が渴けば沢水をそのまま飲んでいましたが、20年ほど前から沢の汚染が問題になっており、煮沸するか浄水器を使うようになりました。登山者のし尿やゴミ、増加し続けている鹿など動物の糞尿や死骸により、大腸菌をはじめ原生生物やバクテリアが沢水に入り込んでいます。生水を飲むのを止めたため、生水や北海道では生水は決して飲みません。キツネや野犬が媒介するエキノコックスが広く知られているからです。このエキノコックスは埼玉県や愛知県でも確認されており、本州へ南下している可能性があります。そのため、汚染も加味すれば煮沸や浄水は必須といえます。ただ、煮沸は面倒ですぐに喉の渇きを癒してはくれないので、素早く飲み水が作れる浄水器は非常にありがたいアイテムです。山行中の腹痛は自身がしんどいのはもちろん、予定がずれ、パーティー山行であれば迷惑になることもあります。そうならないためにも、転ばぬ先の杖、お守り的に浄水器を持参することをお勧めします。浄水器のフィルターは大きく分けて2種類、耐久性に優れたセラミックフィルターとろ過能力が高い中空糸膜のフィルターがあります。今回は軽量コンパクトで機動性に優れた中空糸膜採用のMSRトレイルショットをベースとしたMSRトレイルベースウォーターファイ



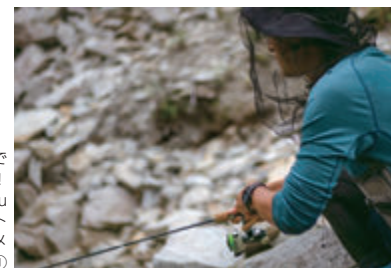
先行者がいないことを願いながら最後の二本を求めて沢を詰める

過ぎ行く夏を惜しむように、流れる水と会話を楽しむようにていねいに釣り上げる。

溪流釣りの絶対的お守り「熊よけスプレー」。いざという時すぐ取り出せるように専用ホルスターとセットがおすすめ。③



顔の周りを飛ぶブヨで釣りに集中できない！そんな時にはHuseguのトレイルモスキートネット。ハリのあるメッシュで視界良好。①



フィルター部分のみでも使用可能、本体がポンプになっていて、繰り返し握ることで浄水できる。軽量で機動力も抜群だ。



釣りの必須アイテム。水に濡らしたくないものはシーラインのEケースへ。タッチスクリーン対応でサイズも豊富。②

禁漁間近の9月中旬、今年最後の一本を求めて、北陸の沢へと足を延ばしました。今回は白馬を拠点にウインターシーズンはグリーンシーズンはSUPガイドを行っている「マウカアウトドア」の福島格さんとの釣行。格さんはガイド業の傍ら、狩猟免許も所持するハンターで、大の釣り好きでもあります。駐車で装備を整え、沢へ。若いころは釣りたい一心でこの山行そのものもどかしく感じていましたが、今は、大人のゆとりで山行自体も楽しめるようになりました。歩き出した早朝は秋を感じさせる気温でしたが、日中はぽかぽか陽気が心地よい。今までの釣行やスノーボードの話をしつつ、周りに目をやれば色づき始めたヤマウルシに秋を感じながら歩を進め、数本の沢を渡り深相をチェックしているとそこは釣り人、だんだんテンションが上がってきます。ほどよいスペースを見つけ手早く拠点を作ります。今回選んだ野営幕はMSRのフロントレンジ。専用ポールが付属せず、トレッキングポールで設営できるため、非常に軽量コンパクト。2名程度の山釣りには最適なシェルターです。グランドシートを敷きサーマレストに空気を入れ、寝床も完了。いざ釣りへ！おっと、その前に水の確保をしなければ。



濡れに強いファイヤーストライカーは釣りにぴったり。UCO タイタンは大型で力を入れやすいのでガンガン火花を作れる。⑧

TEPPAの焚火鉋。流木が手に入る渓流では木っ端が作れる程度の鉋が重宝する。先端の突起が刃先を守るので石の上でも安心。⑨



沢水で顔を洗えば昨晩の酒も一気に抜ける！ 自重の4倍の重量を吸水するパックタオルなら水気を残さず、素早く乾く。⑦



明日に疲れを残さないためにも快眠は必須！ 厚さ5cmのネオエアー ベンチャーなら凹凸の優しい沢岸にはもってこい。少し重たくはなるがスクエア型がおススメ。足がズレ落ちることもなくゆったりと寝れる。⑩

「これがやりたくて！」と格さん。流木に針金でチタンフォークを巻きつけてソーセージを炙る。⑪



ルターキット（以下、トレイルベ
ース）をチョイスしました。もち
ろんエキノコックス（卵も）OK！
このトレイルベースは「トレイ
ルショットマイクロフィルター」
の機動性と「オートフロウグラビ
ティマイクロフィルター」の利便
性を兼ね揃えた浄水器で、ベース
では重力落下式の浄水器として、
トレイルではハンドポンプ式の浄
水器として使用するのが特徴で
す。重力落下式で使用するときは
DIRTYとプリントされたりザ
ーバーに沢水や汚れた水を入れ、
トレイルショットのホースを接続、
先端をCLEANとプリントされ
たりザーバーに付けければ完了。あ
とは重力で自動的に4Lの水を浄
水してくれます。ポンプ式であれ
ば4Lの水を作るためには、休ま
ず4〜5分ポンピングしなければ
ならず、さすがに腕が疲れてき
ます。休み休み
と10分ぐらい掛
かっている印象で
す。それが手放し
で大量の水を作れ
るというのがトレ
イルベース最大の
利点です。一方ト
レイルではフィル
ター部分単体で持
ち歩きます。どん
な浅瀬でもホース
の先端が水場に入
っていればその場

①Husegu / トレイルモスキートネット ハット用¥1,540 ②シ
ールライン / EケースM ¥3,300 ③カウンターアソルト / 熊よ
けスプレー CA290 ¥14,740、専用ホルスター¥3,850 ④シ
ールライン / プロドライパップ70L ¥30,800 ⑤MSR / フロント
レンジ¥46,200 ⑥MSR / ポケットロケット2 ¥8,250、MSR
ノトレイルミニ デュオクックセット¥7,700、MSR / チタンマグ
カップ¥6,600、MSR / マグメイトコーヒーフィルター¥2,750
⑦パックタオル / ウルトラライト ハンド¥4,070 ⑧UCO / タ
イタンファイヤーストライカー¥2,420 ⑨TEPPA / 焚火鉋 弥彦
¥9,350 ⑩サーマレスト / ネオエアーベンチャーレギュラー¥
14,300 ⑪MSR / チタンフォーク & スプーン¥3,960



使用したアイテムは
こちらでチェック

で水を飲むことができるので、リ
ザーバーで沢水をすくえない状況
でも対応ができるメリットがあり、
手持ちのボトルやハイドレシヨ
ンがあれば過した水を持ち運ぶ
ことができ、水分補給がしかり
とできます。通常の登山において
もこのフィルター部分とドロメダ
リーバッグやプラティパスのソフ
トボトルを持っていけば、わざわざ
重い水を麓から背負って行かず
とも、途中の水場やテント場そばに
水場があれば設営後に空荷のザッ
クを使って補給しにいればよいの
です。なにより荷物が軽くなり山
行そのものが楽になります。

手ごろな流木でトライポッドを
作り、DIRTYのリザーバーに
沢水を入れ、トレイルベースを組
み込みセット完了。さあ、準備は
これくらいにして、夕間詰めまで
沢を詰めていきますか！

満天の星のもと、沢音を聞きながら
明日の大物を夢見る

トレッキングポールで設営ができる
MSR フロントレンジ。軽量ながら
フロア面積は広いので、2名の釣行
にはもってこいのシェルトー⑤

MSR トレイルミニ デュオクック
セットで湯を沸かしモーニングコ
ーヒー。ポケットロケット2と
250缶がぴったりと収納できる④



150tでプレスした最高強度のペグ



シェルターステイク
320＝サイズ: φ9×320mm／重量: 174g／¥385
220＝サイズ: φ7×220mm／重量: 72g／¥352

「硬い地面にもしっかりと打ち込める強いペグがほしい」
シェルターステイクは、モチツキスタッフのそんな思いから生まれました。きっかけは、MSRからも大型タープやシェルターが登場し、日本市場でも受け入れられたことでした。もともと付属していたプラスチックやアルミのペグは、日本のキャンプサイトによくある硬い地面では不安があり、もっと強いものがほしいという要望が出てきました。イベントなどで設営を繰り返す、ユザーと接するうちに「ニーズがあるのではないか」という予想は確信に変わり、開発がスタートします。

モチツキは新潟県三条市の会社です。三条は、いわずと知れた金物の街。モチツキのルーツも地元の鍛冶屋がつくったハーケンです。金属の加工品は得意中の得意。シェルターステイクにも、前身と呼べるような製品がありました。

モチーフとなったのは、1980年代に販売していた「打ち込みスクリュー アイスハーケン」です。写真右の無骨な一物がそれ。クロムモリブデン鋼の頑強なハーケンで、難所に挑むクライマーからも絶大な支持を得ていました。ハーケンを出自にするシェルターステイクは、現在3つの工場で行われています。150tでプレスされたペグは、テストでも最高レベルの強度を実証しています。

素材

シェルターステイクに求めたのは、シンプルで扱いやすいことと、頑丈なこと。直径7mmと9mmのスチールの棒を素材につくられている。

先端を削る

最初の行程は先端部の切削。いまでは作られていない精密高速旋盤機を使い、一本一本手作業で削る。職人の手はリズミカルでよどみない。



上部を曲げる

先端の切削を終えた材料はプレス工場へと持ち込まれる。まずは上部の曲げから。本体に傷をつけないよう、数本おきに油を差しながら作業する。



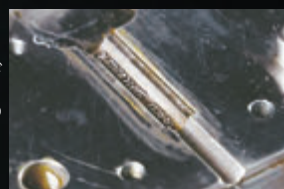
プレスする

鉄は圧縮することで硬化し、焼きを入れたように強くなる。150tのプレス機で本体に凹凸をつける。強度が高まり、地中で抵抗となって抜けにくくなる。



ロゴを刻印

プレス工場には大小さまざまな機械があり、プレスをするたびに「ドン」という音が響く。ロゴの刻印には45tの小型の機械を使用している。



カチオン塗装

プレス工場でカタチができたら最終行程となる塗装工場へ。塗料を入れた槽に漬け込み、電気力で強固な塗膜を形成するカチオン塗装で仕上げる。





栗 ———— なんでもこなす 万能両刃鉈

細い薪割りから枝打ち、木作業までできるマルチなモデル。刃先が長いことでパトニングがしやすい。フルタングのナイフのように刃元と柄の部分に押しつけるのではなく、刃の中心と薪の中心を合わせて打ち込むようにすると力がいばん伝わってくる。枝の先端を尖らせて杭のように打ち込むランタンスタンドなどをつくるときは、刃は震かせるのではなく垂直に動かして、枝の方を斜めにするとうりやすい。



¥11,000
刃渡り: 165mm
刃厚: 7mm
柄: 195mm
全長: 370mm
重量: 548g



角田 ———— 細かい作業に向く シャープな片刃

TEPPAのなかで切れ味は群を抜く。他ももちろん切れるが、刃の重さに関わってくるハードな作業用になっている。このタイプは、「切る」「削る」がメインなので鋭さを追求した作りだ。そうすると焚き付けに必要なフェザースティック作りにはもってこい。一般的にはナイフで行うが両刃のため、慣れるまでは難しい。片刃だとカンナのように木材との接地面が固定されるので、初心者でもキレイなフェザーができる。



¥7,150
刃渡り: 110mm
刃厚: 5mm
柄: 145mm
全長: 260mm
重量: 214g



守門 ———— 重みを生かして 薪を割る

手斧は刃先が刃末から刃元にかけて湾曲しているのに対して、鉈はフラットになっている。薪と刃の接地面が多いことで、しっかりと薪に食い込んで途中で外れることがない。守門の主は薪割りになる。パトニングはもちろん、そのまま薪を割るときは、まず刃先をトンっとくい込ませる。鉈と薪が一体になったら、振り上げて数回、土台に叩きつければ割れてくれる。木目に沿って刃を入れることも大事なポイントだ。



¥12,100
刃渡り: 135mm
刃厚: 9mm
柄: 245mm
全長: 380mm
重量: 874g



弥彦 ———— 手のように使える ユニークな鉈

勢い余って刃先を土台にぶつけてしまうことがある。簡単には欠けたりしないが、刃にはダメージが蓄積してしまう。それを防ぐために刃の先に突起があり、刃先を守る。それだけではなく、落ちている枝や薪を熊手のように掻き集められる。いちいち置いたり持ったりする作業は地味にストレスが溜まるので、先人たちの知恵には驚かされるばかりだ。安全性と機能が考えられたユニークな一本。



¥9,350
刃渡り: 130mm
刃厚: 5mm
柄: 195mm
全長: 330mm
重量: 394g



動画も
チェック!

TEPPA
CRAFT GEAR

使いやすさを追求した焚き火鉈

「握った瞬間、
薪が割れると思わせる」



猪野正哉 (いのまさや)
焚き火マイスター/アウトドアプランナー。雑誌等のライティングからTVやYouTubeにおける焚き火の監修を行なう。著者に『焚き火の本』。2022年春には『焚き火と道具』(ともに山と溪谷社) が出版される。

焚き火を生業にしているところは、ビジュアルが良い海外製の手斧を使っていた。割れることは割れるが力任せになってしまい、すぐに疲れていた。そんなとき実家の物置からサビだらけの鉈が出てきた。おもむろに素振りをしてみたら、ストレスなく振りぬけた。「これは使えるぞ」と試すと、手斧より力を入れずともスパッと割れてくれた。田舎育ちとあって日本伝統の農具や工具に囲まれて育ったが、どこかそういう道具を敬遠し、野暮ったいデザインが好きになれずにいた。しかし鉈との出会いで、手書きからキーボードで打ち込むくらい便利になった。そもそも手斧は腕力があってこそ威力を発揮するので私には合っていない。それ以来鉈を使い続けていたが、祖父の代からなのでさすがにくたびれてしまった。そんなとき「TEPPA」を知る。焚き火台や火バサミなどは毎年多くのメーカーが出すが、鉈を新作で出すところは見たことがない。それも金属加工で世界的に有名な新潟・三条となれば、その時点でお墨付きた。さっそく「守門」を手に入れ、薪を割ってみると突起した握り部分と刃の重みで遠心力が生まれ、いままでは以上に気持ちよく割れる。本来は長い年月、山仕事でも使われてきたものを職人が敢えて焚き火で使うために効率的な形へと進化させた逸品だ。



オーラルピースの生産には約20人のメンバーが関わっている。製造工程では緻密で集中力を要する作業も少なくないが、適材適所で年間1万本程度を出荷している。

年に完成しました。手島さんの父さんが製品を手にすることは残念ながらもありませんでしたが、試作品を試しながら「これはいいよ」と背中を押してくれました。

こうして誕生したオーラルピースの有効性は、多くの専門家も太鼓判を押しています。現在は、東京医科歯科大学医学部附属病院や東京大学医学部附属病院をはじめとする総合病院、歯科医院、薬局など、全国の医療機関やICUで採用され、健康寿命を保つために必須とされる口腔ケアの分野で医療や福祉の現場を支えています。

人や社会の役に立つ サステイナブルな仕事

オーラルピースプロジェクトを立ち上げるにあたり、手島さんにはもうひとつ大きな夢がありました。それは、力があるソーシャルブランドをつくることです。

障害がある子どもを授かった手島さんは、障害者の支援活動も積極的にこなしていました。しかし、活動が続けられなかつた。障害者を取り巻く厳しい現実を知ります。

障害者が自立するのは簡単ではありません。厚生労働省は、企業

への就職が難しい障害者のために就労継続支援を行なっていますが、軽作業を行なう重度の障害者の月平均収入はわずか15776円です（令和2年度。厚生労働省調べ）。これを少しでも向上させるために、オーラルピースプロジェクトは全国の障害者の仕事づくりに取り組みんでいます。

仕事の内容は、オン

オーラルピースは、アウトドアの世界でも人気が高まっている歯磨き・口腔ケアアイテムです。山小屋やキャンプ場でシンプル＆クリンなパッケージを見たことがあるという人も多いでしょう。口の中をしっかりとケアできるうえに、体や環境にも優しいのが人気の理由です。

オーラルピースには、九州大学の微生物研究から生まれた「ネオナisin」という特許製剤が配合されています。乳酸菌から生まれたネオナisinは、口腔トラブルの原因となるさまざまな菌に超低濃度で素早くアプローチできる一方で、生分解性が高く、飲み込んでも体の中でアミノ酸に分解・吸収されるという、他にはない優れた特徴を備えています。

登山者やキャンパーが愛用するようになったのは、水が貴重な山中や水道設備が貧弱なキャンプ場でも気兼ねなく使えるからです。こうした特徴は、もともと吐き出しやうがいが必要な高齢者や障害者でも安心して使えることを目指して実現しました。

開発のきっかけは、株式会社トライフCEO手島大輔さんの父親が癌になったことでした。抗癌剤治療を行なうと免疫力が下がり、口内炎などの口腔トラブルが多くなるそうです。これを抑えるために原因菌に効くマウスウォッシュを使いますが、間違えて飲み込んでしま

手島大輔（てしまだいすけ）
株式会社トライフ代表取締役CEO
コンサルティング会社からベンチャー企業を経て独立。2012年にオーラルピースプロジェクトを立ち上げ、2013年7月に発売。2015年「ジャパンベンチャーアワード」にて最優秀賞・経済産業大臣賞を受賞し、日本のベンチャー経営者の頂点に立つ。



でしまうと腸内細菌まで殺してしまい、おなかを壊してしまいます。抗癌剤の副作用にくわえ、マウスウォッシュの誤飲によつて衰弱する父親を見ながら手島さんは「高精製ナisinA」の実用化について相談されていたことを思い出しました。

コンサルティング会社からベンチャーへと転職し、オーガニック化粧品ブランドを立ち上げて成功させた手島さんの元には、その手腕を頼って日々さまざまな相談が寄せられていました。

九州大学の研究から生まれた高精製ナisinAもそのひとつでし

ラインショップで購入したユーザーへの発送業務や、カタログやPOPなどの販促物製作、地域ユザーへの小売販売などさまざま。仕事を受ける施設のひとつである新潟県阿賀野市の特定非営利活動法人「あおぞら」では、「オーラルピース クリーン&モイスチュアスプレー」を生産しています。

洗口液の生産は原料の調査からはじまります。バルクとよばれる本体ができたら菌の検査を行ない、無菌状態が確認できたら充填器で容器に入れます。充填前の容器はバリなどがなければ一つひとつ確認し、エアで内部を洗浄。容器にロット番号を押し、箱詰めしたのち箱にもロットを押しします。どの工程も細かく、集中力が求められる作業ですが、施設長の本多佳美さんは、障害者のなかには同じ作業の繰り返しに得意な人も多いと教えてくれました。

「重度の障害があり、日常生活ではいろいろと人の手を借りなければいけない人がいますが、ロット番号を押す仕事は、その人がいちばん得意でいねいだし早くできます。生活上の障害と作業の能力はまったく別のもので、その部分だけ切り出すなら、すごく能力が高い人が多いです」

この日、プロジェクトに関わるメンバーに、手島さんから大きなニュースが届けられました。ひとりひとりの顔を見ながら、手島さ

た。高精製ナisinAは、乳酸菌由来の抗菌剤「ナisin」を進化させたもの。殺菌作用がありながら、体の中に入ると分解されるというナisinの特徴はそのままに、口に入れると塩辛いという難点を取り除いていました。これをさらに進化させれば安全な口腔ケアアイテムが作れるのではないかと考えたのです。オーラルピースプロジェクトはこうして立ち上がりました。

九州大学との出会いは2011年でした。高精製ナisinAを元に2012年にネオナisinが生まれ、オーラルピースは2013



本多佳美（ほんだよしみ）
特定非営利活動法人あおぞら理事長
新潟大学で福祉を学ぶ。養護学校の教育実習で重度の自閉症の子と心を通わせたことがきっかけで福祉の仕事に進む。新潟県内の福祉施設で連携して製品づくりに取り組むなど、従来の枠に囚われない新しい試みを続けてきた。あおぞらではオーラルピースのほか、除菌・消臭ミストや保湿バームの製造も手がけている。

追いつけないような、もっと高みにいかなければいけないと。オーラルピースならそれができると思いました。さすがに宇宙までは追いかけてこないだろうと（笑）

この日、あおぞらのプロジェクトメンバーは、テストのために送るオーラルピースにステッカーを封入する作業を行ないました。自分たちが手がけたものが宇宙へ行くかもしれない、それはどれほど誇らしい仕事か。その場にいるだけでも満ち足りた顔をしていました。順調にいけば、2022年のプロジェクトでオーラルピースは宇宙へと飛び立ちます。

「サステイナブルで社会の役に立つ事業がしたいと、ずっと考えてきました。そのためには簡単には

プラティパス クイックドローマイクロフィルターのお手入れ

プラティパスのクイックドローマイクロフィルターは、中空糸膜を利用した浄水器です。中空糸膜には無数の微細な穴が空いていますが、繰り返し使用するとゴミや微生物でこの穴が詰まり、浄水能力が低下します。ここでは、フィルター内に詰まった不純物を取り除き、浄水能力を回復させる方法をご紹介します。



準備するもの
 ・クイックドローマイクロフィルター
 ・清水用ボトル（ソフトボトル1.0ℓ）
 ・塩素系漂白剤
 ・水道水

安全チェック



リザーバーに1ℓの水道水を入れ、半分をろ過する。



フィルターを上にして置き、フィルター下部の取り付け部分がリザーバー内上部の空気に触れるようにする。



リザーバーを20秒間押し、フィルターを通して空気を押し上げる。この間、飲み口側の中空糸膜に気泡が見える場合は中空糸膜が損傷しているため、フィルターの使用を中止する。写真は損傷している状態。下部に気泡が出ている。

殺菌・保管



リザーバーに1ℓの水道水と漂白剤2.5mlを入れる。



半分をろ過し、キャップを閉じて30分置く。30分たったら残りの水をろ過し、キャップを閉じてさらに30分置く。こうすることで、リザーバーに空気がほとんどない状態でフィルター内の中空糸膜が溶液に浸かった状態ができる。最後にフィルターを取り外し、余分な水分を切って乾燥させる。

バックフラッシュ



清水用ボトルに水道水を入れ、フィルターの飲み口を清水用ボトルの口に合わせる（通常とは逆向きに付ける。固定はできないため外れないように手で押さえる）。



フィルターを下に向け、ボトルを押してフィルター内に水道水を逆流させる。最低でも1/2ℓ。できれば逆流して出た水が透明になるまで行なう。

フィルターをリザーバーから外し、シェイクした水を捨ててリザーバーを空にする。新たに水道水をリザーバーに入れ、フィルターでろ過する。流量が回復しない場合は繰り返す。それでも変わらないときはバックフラッシュする。

シェイク



リザーバーに1ℓの水道水を入れる。フィルター内の中空糸膜を濡らすために3/4ℓをろ過し、写真のように1/4ℓを残す。



フィルターとリザーバーを水平に15秒間強く振る。その後、上下方向に15秒間強く振る。



Maintenance

MSR フライシートの目止め処理

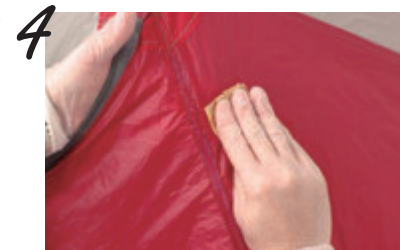
動画も
チェック



MSRが採用する「エクストリームシールドシステム」は、シーム処理を不要にした新しいコーティング技術ですが、ユーザーが縫製箇所にシーム剤を塗ることで、より確実な防水性を発揮します。購入後、フィールドで使用する前にぜひこの処理を行なってください。

準備するもの
 ・テント
 ・固くしぼった布（きれいな雑巾など）
 ・ウエス
 ・シームグリップ+FC
 ・ゴム手袋

はみ出したり垂れたりしたらウエスで拭き取る。



生地の手をめぐり、重なった部分にも塗る。



ファスナーテープにも塗る。コイル部分にシーム剤が付かないように注意する。しっかり乾燥させて完成。



テントを設営する。フライシートは裏返しに被せる。室内で行なう場合は換気に注意。

濡らして固く絞った布で縫い目を拭いてきれいにする。

ゴム手袋をつけ、シーム剤を縫い目に塗る。

ステンレス皿のランタンシェード

UCOのクラルスのような、小さなLEDランタンにぴったりのランタンシェード。100円ショップで手に入るステンレス皿がジャストフィットします。

準備するもの ・ステンレス皿 (100円ショップなどで入手可能) ・ルーター ・定規	・油性マジック ・金やすり ・紙やすり (もしくはワイヤーブラシ) ・塗料
---	--



皿の中心に油性マジックなどでラインを引く。



フックの幅に合わせてルーターで穴を開ける。



金やすりなどで削った部分のバリを取る。



やすりなどで傷をつけると塗装が乗りやすい。

パラコードの編み込みで柄を守る

パラコードを編み込んでアックスの柄肩をカバーします。編み込みは一見複雑に見えますが、単純作業の繰り返し。一度覚えてしまえば意外と簡単です。

準備するもの ・パラコード ・ハサミ ・マスキングテープ ・ライター
--



同じようにループをついたら、あとは同じ作業の繰り返し。パラコードのねじれに注意する。



好みの長さになったら柄を巻かずループに通す。



下の仮止めを外してループに通す。



上の仮止めを外して引き、最後に下を引き締める。末端を処理して完成。



巻きたい部分よりも少し長めの位置で仮止め。下部で折り返し、上部にループを作る。



柄をぐるりと一周させる。



ループにくぐらせながら新しいループを作る。



最初とは反対側にループができるので、逆方向から一周させる。

MSR赤缶でつくる物入れ

鮮やかな赤色が人気のMSRイソプロ使用済みカートリッジで物入れをつくります。観葉植物など、好みのものを入れて身の回りにアウトドアテイストを。

準備するもの ・使用済みのガスカートリッジ ・ルーター ・ガス抜きツール (アウトドアエメント/ハンドルドグリップツールを使用)	・定規 ・コンパス ・金やすり ・鉄パイプ ・金槌
---	---



電動工具を使うため、カートリッジ内に残ったガスは確実に抜いておく。ガス抜きツールがあると便利だが、釘などで代用もできる。



コンパスを使ってマーキング。中に入れるコップなどの縁が切り口に掛けられるように、直径よりわずかに小さい円にするとよい。



ルーターを持つ手は動かさずカートリッジを動かすのがきれいに切るコツ。歪みやずいのでしずつ。最後に金やすりでバリを落とす。



中に入れるカップなどが収まりきらないときは、カートリッジ底部の凹みをつぶす。枕木などを下にして鉄パイプなどの硬いものを当てて叩く。

テントポールのハンガー

MSRのテントポールは永久保証。破損したものは無償で交換しています。使えなくなった部分を生かして、コンパクトに畳めるハンガーを作ります。



完成形をイメージしてポールを曲げる。接続部分が中央になることを忘れずに。



接続部を除いた長さ(赤い部分)の半分の位置で切断する。パイプカッターを使えば簡単。



万力などで固定し、接続部分から等距離の二箇所にドリルで穴を開ける。



短く切ったポールで三角形を作るようにして、パラコードで繋ぐ。端は結びで処理する。

ICEMULE®

アイスミュール 2015年～

空気を入れて断熱・保護層をつくり、使わないときは小さくたためるソフトクーラーのブランドです。ハイキングやSUPのような人力の遊びでも安全に飲み物や食材を持ち運べます。



ユーコ 1971年～

社名はUtility (実用性)、Comfort (快適)、Originality (独創性) の頭文字を組み合わせたもの。キャンドルランタンやLEDライト、焚き火台などのユーティリティを扱っています。



エムエスアール 1969年～

登山の安全性向上を目的とするニュースレターの発行をきっかけに山岳用品を手がけるブランドとしてスタート。常に革新的なギアを提案し、アウトドア業界をリードしています。

ALL BRANDS



ストーム 2002年～

高機能なウエアや登山靴、グローブのような革製品のケアアイテムをつくっています。素材の機能回復力はもちろん、環境負荷も考慮した製品づくりで高く評価されています。



ファイヤーサイドアウトドア 2016年～

焚き火やBBQをもっと簡単に、安全に楽しみたいという思いから生まれました。ポップアップピットのヒットを足がかりにBBQで重宝するクックウエアにも着手しました。

platypus®

プラティパス 1996年～

軽量・コンパクトで水の味を変えない上質なソフトボトルでアウトドアの水のマネージメントに革命をもたらしました。アウトドアでの安全な水の確保はプラティパスにお任せです。

THERMAREST®

サーマレスト 1972年～

自動膨張式のスリーピングマットレスを生み出したブランド。各種マットレスや寝袋、ブランケットから枕のようなアクセサリーまで、野外での休息に関わるすべてを揃えています。



アットウッドロープ 1985年～

「世界を結びつける」をモットーに、米陸海軍にも採用される高品質のロープやコード類をつくるブランド。シンプルなパラコードのほか、反射や蓄光タイプも揃えています。

TEPPA CRAFT GEAR

テッパ 2021年～

TEPPA(てっぱ)は新潟県央の職人言葉で「手仕事」を意味します。モノづくりの街・新潟県三条市に拠点を置くモチヅキが手がける、職人の手仕事を大切に作るギアブランドです。

PackTowl®

パックタオル 1993年～

トラベル&アウトドア向けのタオルを製造。自重の10倍の水を吸う「オリジナル」をはじめ、さまざまなサイズや質感の製品を揃え、探しているものがきっと見つかります。



シールライン 1986年～

防水バッグのトップブランド。高度な高周波溶着技術によりスマホ用のケースから、1mの深さに30分水没しても耐えられる完全防水のバッグまで、多彩な製品を手がけています。



ミラクルピュア 2007年～

北海道の広葉樹からつくる木酢液をベースに、ペパーミントなどを配合した天然由来成分100%の防虫スプレーやギア用除菌消臭スプレーです。国産・高品質で安心です。



ブレンダーボトル 2000年～

プロテインのシェイカーで知られるブランドですが、アウトドアでは密閉性の高い容器を縦につなげられる「ゴースタック」が大人気。スパイスや調味料をスマートに持ち運べます。



サーマセル 1981年～

虫よけ商品を製造し、世界20カ国以上で販売するアメリカのブランド。ボタンガスで加熱して有効成分を揮散させるタイプは薬剤を肌につける必要がなく、安心して使用できます。



アウトドアエレメント 2017年～

メタルマッチとして使えるファイヤーホイールやドライバーを備えるマルチツール・カラビナをはじめ、「あると便利」な多機能&ユニークなアクセサリを提案しています。



カウンターアソールト 1986年～

グリスリーの生息地として知られるアメリカ・モンタナ州で研究・開発されている熊よけアイテムです。レバーを押すと唐辛子エキ스가噴出し、その強力な刺激でクマを撃退します。



フセグ 2015年～

キャップやハットに被せる防虫用のヘッドネットをつくっています。ポリエステル製のネットはシワになりにくく視界もクリア。有害な薬剤は使っていないため安心して使えます。



オーラルピース 2006年～

日本国内で口腔ケアアイテムやハンドクリームを製造・販売。100%天然由来の成分で口に入れたり肌につけたりしたときも悪い影響を及ぼさず、どんな人でも安心して使えます。



キャリー・ザ・サン 2019年～

紙風船のようにふくらませるランタンです。太陽光で充電でき、シート状に収納できるので持ち運びもしやすく、キャンプや登山はもちろん、防災グッズとしても重宝します。



ナチュラルスピリット 1990年～

モチヅキが手がけるユーティリティブランド。地元新潟県三条の産業を生かしたカトラリーやカップ、コンビナイフのような製品は日常からアウトドアの幅広いシーンで活躍します。



クラムクリート 1965年～

ヨットの帆装ロープを固定するクリートにはじまったブランド。ヨットレースで使うアルミの高精度なものからテント用のプラスチック製まで、100種以上の製品を手がけています。



フジニシキ 1920年～

防虫線香を手がける大正9年創業の老舗。看板商品の「パワー森林香」は強力な効き目で林業従事者も愛用する隠れた名品です。夏のキャンプやトレッキングも安心して楽しめます。



ストラップギア 2007年～

アメリカ生まれのシリコンストラップ。ランタンを吊り下げたり、スノーシューをパックに固定したり、自転車の荷台に荷物を付けたり。1本持っているとなにかと重宝します。

POLAR EXPOSURE



ツンドラネツはトナカイの放牧をして暮らしている。電気もガスも水道もない生活。北に住む人ほど祖先に近い暮らしを営む。

雪の民族を追いかけて

— 遠藤 励のPOLAR EXPOSURE —



トナカイをそりに繋ぐ長のアテヨム。トナカイ1000頭を連れ、スノーモービルもつつundraネツのなかでは「裕福な」グループ。



中央には薪ストーブ。これが暖房であり、キッチンだ。水は雪を溶かして作る。発電機はあるが、燃料が貴重なのはいうまでもない。



遠藤^{つとむ}さんはスノーボーダーであり、1990年代後半からは写真家としてスノーボードを題材に撮影活動を続けてきました。雪山と向き合っていると、地球温暖化の影響が年々顕著になっていくことを実感させられるといいます。子どもころに穴釣りをしていた湖は凍らなくなり、北アルプスの山では真冬に雨が降る日も増えてきました。

雪がなくなったら悲しい。滑り手の自然な思いから雪を撮りたいという衝動が生まれ、雪や氷河、氷山や極地に暮らす先住民を被写体とした撮影に取り組むようになりました。

頻発する自然災害が、人間も地球の一部であり、自然を切り離して生きることはできないと教える今、遠藤さんは、極地の自然と古来より続いてきた先住民族の暮らしのなかに、私たちが未来へ進むための叡智があるのではないかと考え、カメラを手に「雪の民族」を追いかけています。

ポーラーエクスポジジャー(POLAR EXPOSURE)と名付けたこのプロジェクトは、2018年にグリーンランドのイヌイットを訪ねる旅からはじまり、2021年にはロシアの北極圏に暮らすネツ族のトナカイの遊牧に同行しました。

ネツ族は北極圏の先住民族で、ロシア極北部のヤマロ半島とその



ツンドラの原野。冬から春に変わろうとするこの時期も平均気温は-20℃程度。厳冬期は-50℃を記録することもあるという。



アテヨムのキャンプは親族で構成されていた。ひとつのチュムにひとつの家族が暮らしている。親戚のなかには町で暮らす者もいる。

周辺に4万人ほどが暮らしているといわれています。タイガ樹林に定住する森林ネツとツンドラネツがあり、ツンドラネツは彼らの言葉で家を意味する「チュム」で生活しながらトナカイを遊牧しています。トナカイの餌を求めてツンドラを移動しながら日々その肉を食べ、毛皮をチュムの外被や衣服に変え、近代はそれで金銭も得るようになりました。

遠藤さんが同行している間にもトナカイをつぶす機会がありました。トナカイの血はそのときだけ飲めるもの。彼らにとっては馳走です。遠藤さんも口にしました。生臭さはなく、ほのかな塩味も感じられるそうです。

「たしかに血の味なんです、なにか動物性のスープのような。まるでレバーでつくったポタージュのようでした。あたたかくて、意外にもおいしいと感じました」

どんなときに幸せを感じるかという遠藤さんの問いかけに対し、キャンプの長のアテヨムは、「トナカイに十分食べさせられたときは満足をおぼえる」と語りました。一方、日々の生活で怖いことはなにかという問いには、「冬に雨が降るようになったこと」という答えが返ってきました。

冬の間トナカイは雪を掘り、その下の地面に生えるわずかなコケを食べます。春に近いとはいえず、基本的には氷点下で気温が推移する



アテヨムの娘。政策により、子どもは年に1ヶ月はキャンプを離れてサマースクールに通う。このためロシア語を話せる人も多い。

極寒のツンドラで140キロにもおよんだ先住民との旅は緊張も絶えなかった。唯一安心と温かさに包まれるのは、持参したサーマレストのポーラーレンジャーに身を埋めて眠る時だった。



子どもたちとの交流はコミュニティに溶け込む糸口となる。日本語とネネツ語の教え合い、柔道ごっこで盛り上がった。



ひとつのチュムの家財道具を運ぶために、そり16台を使う。設営・撤収は大掛かりだが、冬は餌場を求めて週に2回から3回移動する。



ツンドラの大地で

ツンドラとは永久凍土が広がる寒冷地域のこと。主にシベリア北部に見られる。温暖化の影響でその面積は縮小傾向にあるが、そのツンドラで古代からほとんど変わらない生活を送る先住民の姿がある。彼らはネネツと呼ばれるトナカイ遊牧民。人類がめまぐるしく発展を続けてきたこの数百年の間も文明による影響をほとんど受けず、その原始的な生活を保ち続けてきた。

「せーの・エンドー！ そらもう少しだ！ エンドー！」

だいぶ打ち解けてきたのだから、皆で協力してテントを張る作業に、アテヨムが私の名前をかけ声にする。少しお喋りで、二歳年下の彼は足を患った父に代わり、キャンプの長を務めている。長は遊牧ステジュールを計画し、キャンプの皆が公平に暮らせるよう中立をはかる大切な役目になっている。

アテヨムの妻・ナディアはネネツには珍しい茶色い髪に色白の女性で、テントの設営から一日5回の食事の支度など生活を支える殆どの仕事に携わり、遊牧移動の際にはトナカイぞりを操る。

ツンドラの雪の下に生える苔をトナカイたちに食べさせながら一緒に繁栄していくことが彼らの暮らしの全てなの

だ。日々の仕事は幼い子供たちも協力し合い、ある日の雪原で娘のダシカとジェニヤが鼻歌を歌いながら飲み水を作るための雪を集める姿はとても美しかった。ネネツはこの地球に現存する数少ない雪の民族と言えるだろう。

住居となるチュムと呼ばれるテントはトナカイの毛皮をつなぎ合わせて作られた生地、針葉樹から削り出されたポールをあしらい完成する。近代のテントで言うならインナーとフライシートに分かれた生地はおよそトナカイ170頭分。ポールが28本。それらを移動する度に組み立てる。年間1600キロを移動する彼らは週に2、3回のペースで移動を繰り返し、一回あたりの移動距離は約40キロ、凍結した北極海を渡った時には一日60キロに及んだ。チュムは先祖代々受け継がれ、摩耗した箇所をリペアしながら使う。滞在したチュムは親子七代に渡り使い続けてきたというから、既に数百年は使われていることになる。中心部には円錐を保つための神聖なポールが建ち、その脇に調理や暖房のための薪ストーブが置かれる。左側が食卓兼寝床、前方は炊事道具、右側は主に荷物置きに使われていた。出入りはちょっとしたコツが必要で、後ろ向きに出入りをするのが最良とされている。で

この季節のツンドラに雨が降ると地表は凍り、トナカイは食べ物を得られず餓死してしまいます。ネネツにとってトナカイは財産ですが、ただの家畜ではありません。トナカイを失うことは、家族を失うにも等しいことです。

北極圏は世界でも一番早く、深刻な温暖化の影響を受けています。文明の対極にあるかのようなネネツ族の暮らしも例外ではなく、文明がもたらした温暖化によっておびやかされていました。

電気も水道もない不便な生活をなぜ続けるのか。町で暮らしたいと思ったことはないのかと聞くと、アテヨムの妻ナディアは目を輝かせながらこう答えました。

「ドアを開けたら他の人がいるなんて耐えられない。私はこの暮らしが好きなの」

彼らは他に選択肢を持たないのではなく、自ら選んで古くから続くこの暮らしを守っていました。その姿は、遠藤さんの心に強い印象を残しました。

「キャンプには子どももたくさんいて、みんなお茶目だし、よく笑うし、よく働くし、すごく元気です。大人も、冗談を言うような頭の柔軟さももっています。生活は原始的ですが、感覚的には現代人となんら変わりませんでした」

この美しい人々の暮らしから、私たちはなにを学び、生かすことができるのでしょうか。

きるだけ寒い外気をチュムに入れないよう毛皮のフライシートを素早く開け閉めし、隙間を放置してはならない。樹木が殆ど生えないツンドラで焚き木の確保はより多くの労力が必要となるからだ。

寝床にはよじ状に枝を敷き、その上にむしろと分厚いフェルトを重ねてからトナカイの毛皮を敷く。マイナス50℃にもなるといふツンドラで家族5人と飼った犬の2匹が体を寄せ合いながら眠るのだ。時にはチュムも無く、極寒の雪原で毛皮に身を包み眠ることもあるという。

ネネツの女性は逞しく、ネネツの男は本心にタフだ。よく働き、よく食べる。キャンプは子供が多くにぎやかで、人々は活気に満ちていた。しかし、周囲は見渡す限りの平坦な雪原で人々はどのようにて方角を知るのだろうか。彼らの真正さとシンプルな生活に憧れを抱きつつ、文明に染まり続けてきた私とは潜在的な生きめく能力に大きく差があることに驚かされるのだ。

遠藤 勲（えんどうつとむ）
写真家。長野県大町市出身。世界各地を訪れスノーボードの潮流を20年以上に渡り撮影。同時にアーティストとして雪にまつわる表現に傾倒している。近年は北極圏に違い、失われつつある自然や先住民の暮らしを写真に収めている。



WEB版
はこちら！

なみなみと注がれたスープの表面には背脂がタップリ！麺をリフトアップして初めて湯気がたつ、背脂が熱を逃がしていない証拠。少し柔らかな極太麺で大満足。



上) 直幸さんの愛機「ハーレーダビッドソン ロードグライド」年に一度、1週間の北海道ツーリングを楽しんでいる 右) 20年前ツーリング用にMSRを買って以来、テントはMSR。今の相棒はハバツアー 2とランデブー 120。



上) 力強く書かれた“背脂”の文字。お隣り弥彦村の書家 田中藍堂先生から毎年年末に頂くという。先生も杭州飯店の大ファン。下) もう一つの名物 餃子。



杭州飯店
新潟県燕市燕49-4 TEL:0256-64-3770
営業時間 平日11:00～14:30、17:00～20:00
土・日・祝11:00～20:00売切次第終了 月曜休



八合目付近の“午の背”と呼ばれる痩せ尾根。ここを越えると山頂に向けて程よい急登になるので、クールダウンに最適な場所。

山頂は360°の大パノラマ！麓の三条や加茂の街並みから守門岳、越後三山、薄曇りながら遠く佐渡や飯豊連峰まで見渡せる。



新潟の遊びと食

三条の名峰粟ヶ岳と背脂ラーメン

北東から南西に日本海に面して細長い新潟は、自然豊かで食文化も多様な県です。そんな新潟を遊んで、そして食したい！と向かったのはモチツキの拠点三条市。今回「遊」で選んだのは三条市の中心部から車で45分ほどのところにある三条を代表する名峰、粟ヶ岳。モチツキプライベートブランド「TEPPA」の4種の鈍には三条周辺の山の名前が付けられ、粟ヶ岳はそのひとつでもあります。ルートはいくつかありますが、今回はもちろん三条側の下田コースをチョイス。林道から沢沿いへ、淡々とした登りが続き尾根へ。途中鎖場や痩せ尾根があり飽きさせません。山頂では360°の大パノラマが楽しめます。地元に愛される名峰です。「さて次は守門？角田？」などと考えつつ、お楽しみ「食」に向かいます。

「食」は決めていました。三条とは切っても切れない隣町、燕市発祥で最近では「燕系」ともいわれる。背脂ラーメン。新潟5大ラーメンのひとつであり、煮干しベ이스の醤油スープに甘みのある背脂、そして極太麺というのが特徴です。数あるお店の中でも群を抜いて人気があり、平日でも行列の絶えない「杭州飯店」にお邪魔しました。杭州飯店は前身である福来亭から数えて来年で創業90年を迎える老舗中の老舗。現オーナーの徐直幸さんの祖父が福来亭というお店を開き、近隣工場の肉体労働者向けに塩味と背脂を増やしていき、直幸さんの父である2代目がお店に入ると高度経済成長期を迎え、残業の増えた工場からの出前が殺到。各工場からくる数十杯の注文をバケツリレーのように出前をしたそうです。しかし普通の麺では伸びるし、なによりラーメンそのものが冷めてしまうので、2代目の勝二さんが太麺にすることで伸びるのを最小限にし、背脂を更に増やすことで冷めづらくさせたのです。初代と2代目の試行錯誤の末できあがった、背脂ラーメン。数年前から息子さん（4代目）も製麺をスタート、継承されています。話はこれぐらいにして、麺が伸びてしまう前に熱々の背脂ラーメンを頂きましょう。程よい疲労感の中頂く、背脂が五臓六腑に染み渡る。